令和２年度　岩国市の予算

いわくに活き生き暮らし実感予算

問財政課☎(29)5050

一般会計予算　713億3,000万円（令和元年度 763億6,000万円）

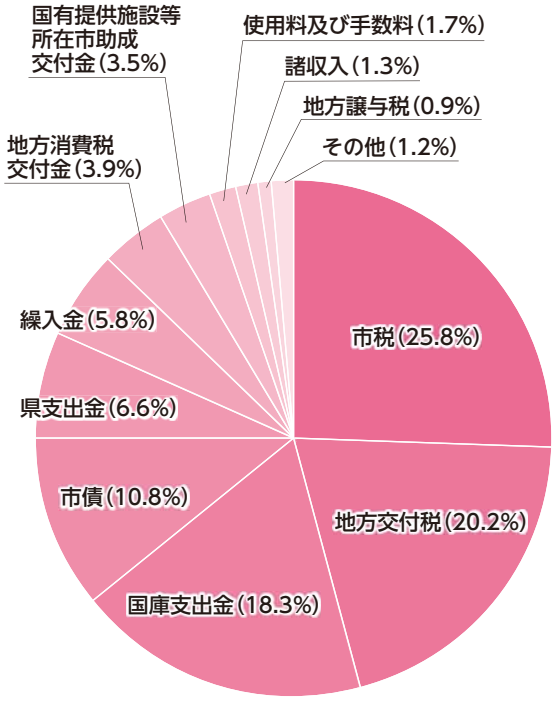
特別会計予算　353億4,330万円（令和元年度 361億620万円）

◆ 特別会計予算の内訳（単位　円）

会計名	予算額
土地取得事業	6億　100万
後期高齢者医療	26億7,000万
国民健康保険	163億2,600万
介護保険	150億6,400万
周東食肉センター事業	1億7,160万

会計名	予算額
観光施設運営事業	7,420万
錦帯橋管理	2億1,260万
市場事業	2億　610万
駐車場事業	1,780万

一般会計　歳入



費　目	予算額
市税 (市民税など)	184億1,200万
地方交付税 (国からの交付金)	143億8,700万
国庫支出金 (特定の事業に対する国からの補助金など)	130億4,933万
市債 (借入金)	76億9,500万
県支出金 (特定の事業に対する県からの補助金など)	46億7,383万
繰入金 (基金からの繰り入れ)	41億　493万
地方消費税交付金 (地方消費税の市町村分)	27億5,600万
国有提供施設等所在市助成交付金 (米軍や自衛隊の飛行場など特定施設に対する交付金)	25億1,300万
使用料及び手数料 (公の施設の利用料や住民票の発行などの役務の対価)	12億　629万
諸収入 (延滞金や雑入など)	9億1,933万
地方譲与税 (国税として徴収したものを自治体に譲与する税)	6億2,700万
その他	9億8,629万
合計	713億3,000万

◆予算編成の方針

令和2年度の予算は、財政計画の基本方針である「将来負担の軽減」を堅持しつつ、総合計画[※1]と総合戦略[※2]に沿ったまちづくりを推進するために必要なものとしています。

○投資政策的経費[※3]

総合計画の基本目標である6つの[※4]目標を中心に、重要度、緊急度、事業効果などを考えて、まちづくり[※5]実施計画に登載される事業を選択しました。

○経常経費[※6]

事業実施の必要性等を検証し、事務事業の合理化、効率化、簡素化を図ることとし、おおむね令和元年度の当初予算を基本として配分した一般財源[※7]の範囲内で編成しました。

○その他

市債については、将来負担の軽減を図るため、発行をできるだけ抑えるとともに、発行に当たっては、財政的に有利な普通交付税算入率の高い市債の活用に努めました。

※1　総合計画＝岩国市のまちづくりの一番大きな指針となる計画で、まちの将来像や達成する目標、そのための手段などを取りまとめたもの

※2　総合戦略＝岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこと。令和2年度から6年度までの施策の方向性を定めたもの

※3　投資政策的経費＝公共施設やインフラの整備など将来に残る固定的な資本を形成する事業や、市独自の政策を反映したソフト事業などを行うための経費

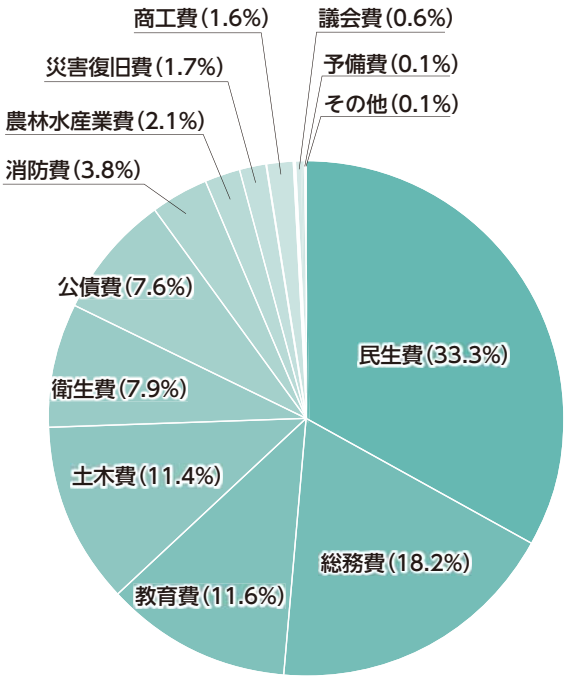
※4　6つの目標＝①子育てといきいきとした暮らしを応援するまち　②空港を軸とした活力ある産業と観光のまち　③豊かな自然と充実した社会基盤により快適に暮らせるまち　④誰もが安心・安全に暮らせるまち　⑤心の豊かさと生き抜く力を育む教育文化のまち　⑥支えあいと協働でつくる絆のあるまち

※5　まちづくり実施計画＝施策や事業を計画的・効率的に実現するための3カ年の計画

※6　経常経費＝現行の経常的な事業を維持していくための経費

※7　一般財源＝特定の目的のみに使用できる特定財源に対し、目的を定めずに使用できる財源

◆一般会計予算の内訳（単位　円）

費　目	予算額
民生費 （児童・高齢者・障害者福祉などの経費）	237億2,642万
総務費 （庁舎管理・徴税・選挙などの経費）	130億　560万
教育費 （小中学校・幼稚園教育などの経費）	82億7,081万
土木費 （道路・公園・河川整備などの経費）	81億5,383万
衛生費 （ごみ・し尿処理や健康推進などの経費）	56億1,297万
公債費 （市債の元金や利子などの返還金）	53億8,455万
消防費 （消防・救急・防災などの経費）	27億2,909万
農林水産業費 （農林水産業の振興や農林道の整備などの経費）	15億　12万
災害復旧費 （土砂崩れなどの災害復旧のための経費）	12億2,150万
商工費 （商工業の振興や観光事業などの経費）	11億5,822万
議会費 （議会の運営、議員報酬などの経費）	3億8,626万
予備費	1億
その他	8,063万
合計	713億3,000万

一般会計　歳出